

一般質問



十人の議員の一般質問を紹介します。

(通告のうち各三問を掲載しています。)

宮澤 孝司 議員

(新政クラブ)

○防犯カメラの設置について

(一般)

問い 児童・生徒の通学路の安全確保や高齢者の見守りなどの観点から、安心・安全なまちづくりのために、人通りの多い中心商店街や学校・公共施設など市民が多く利用する場所での防犯カメラ設置の必要性が求められると思うが、設置についての考えを問う。

答え 防犯カメラは、犯罪行為の抑止力になるとともに、高齢者の見守りなどにもその活用が期待できるなど、安心・安全なまちづくりには効果的なものと考えられることから、現在建設中の地域資

○深川中学校改築について

(教育)

問い 改築での校舎建設場所は道道沿いの旧校舎があった場所と聞いている。工事開始に当たっては、生徒の生活環境への配慮が第一と考える。また新しい校舎が新生深川中学校にとつて、誇れる校舎になることを期待する。今後の改築スケジュールについて伺う。

市としては、深川警察署、防犯協会、町内会連合会など、関係二十一人団体による連絡会議を設置しており、毎年、安全対策の検討やさまざまな情報の交換などを行っております。この連絡会議において、防犯カメラに関する情報交換などを行うとともに、町内会や商店街などが防犯カメラを設置する場合、自治体が補助金などを交付している事例などの情報も収集するなどして、研究したいと考えています。

答え 深川中学校の改築については、昨年八月から十二月にかけて実施した校舎等の耐力度調査の結果を踏まえ、本年度の当初予算において、改築に係る実施設計の経費を計上しています。本年度においては、七月に実施設計に係る入札を行い、平成二十七年五月頃までに実施設計の完了を予定しています。平成二十七年年度においては、実施設計完了後に、国庫補助事業の申請を行い、補助採

択があり次第、校舎及び体育館の改築工事に係る入札を行い、二十八年十二月頃の完成を目指し工事を実施したいと考えています。平成二十八年度においては、校舎及び体育館の完成後、新校舎への引越しが終了すれば、旧校舎及び体育館の解体工事を行い、翌年の二十九年度において、旧校舎及び体育館跡地を含め、グラウンドの造成と外構の工事を行う考えです。

○深川中学校改築について

(教育)

問い 施設整備では生徒の多様化する活動へ対応できる環境づくりや教室など十分なスペースの確保が強く望まれる。また、駐車場のスペースを確保し、災害時における避難所としての施設整備を行い、地域コミュニティとしての役割を果たす施設と考えるが見解を問う。

答え 施設整備の基本的な考え方としては、本市の学校施設整備のモデルとなることを目指し、生徒及び教職員はもとより、保護者や地域住民にとつて、よりどころとなるような施設の整備を図ります。施設整備については、文

部科学省が定めた学校施設整備方針に基づき、高機能かつ多機能で、少人数学習・習熟度別学習などの多様な学習活動に対応するとともに、防災・防犯などの安全にも配慮します。地域に開かれた学校については、これまでと同様に学校開放や災害時の避難先となる防災拠点としての活用が図られるよう配慮し、駐車場については、効率的な配置に努めます。

さらには、深川中学校改築検討委員会から、深川中学校改築に関する要請をいただいていることから、その要請内容についても可能な限り実施設計において反映できるよう努めます。



その他通告のあった質問

1. 公立高校について(教育)
2. 新規助成制度について(市勢振興)
3. 空き家対策について(一般)



鶴岡 恵司 議員 (公政クラブ)

○農村基盤整備事業について

(農業)

問い 農村基盤整備事業が進められているが、春、秋の施工では、作業が集中することから夏季施工の要請があり、今年度から夏季施工の実施により作物が未作付となる圃場に対し、国の交付金を充て所得補填することで可能になったが、事業の詳細について伺う。

答え 農業経営高度化促進事業いわゆる促進費は、ハード事業での農業者負担金を軽減するもので、事業の成果によって助成率を算定し、事業完了後に交付されるものですが、今回の制度拡充により、促進費の使途が従来の負担金の償還費等に加えて、夏季施工の補填費に充てることができるようになりました。なお、夏季施工による所得減少分補填費の交付時期については、全体事業の計画期間の完了時ではなく、施工年度ごとに夏季施工対象者に交付され、この事業の国の補助率は五

十五%で、残りの四十五%は地元負担となります。

○企業誘致、広里工業団地の造成について

(市勢振興)

問い 工業団地指定から長い年月が経過している。地権者も高齢化していて、所有者が自作している農地もわずかであり、残りは地域の農業者の皆さんが耕作を継続している。市と所有者、そして現在の耕作者も含め協議の場を設け早急に方向づけすべきと考えるが見解を伺う。

答え 本市では、企業を呼び込めれば、農地を所有する皆さんの希望に応えられることから、まずは全力で企業誘致を図ることが重要と考え取り組んでいます。また、農地を所有する皆さんの利益を解消するため、農地を農地のまま譲渡する場合に適用となる譲渡所得課税相当額交付金及び農地譲渡交付金と、農業振興地域内の農業者の農地・水保全管理

支払交付金に相当する農地管理交付金の三つの交付金による助成制度を内容とする事業を創設し、他地域の農業者との格差是正を図るよう対応してきました。広里工業団地の今後の整備については、地権者の皆さんの意向や希望、企業の今後の動向、さらには、今年度の企業立地意向調査及び担当者による企業訪問の結果など、もろもろを勘案しながら必要な検討をします。

○バイオマス構想について

(市勢振興)

問い 深川市を含む北空知圏には、木質資源、農産物の残渣物などのバイオマス資源があり、これら地域資源を活用することは重要である。発電事業では雇用が生まれ、発電時に発生する熱、温水は農業生産などに活用できる。多様な視点で検討する考えはないか伺う。

答え バイオマスによる再生可能エネルギーについては、これまで、稲わらからバイオ燃料を製造する事業や、関係する団体において間伐材を活用した発電の燃料としての事業展開について検討が行われた経過がありますが、と

もに経済性の確保などの課題から事業化には至っていません。

しかし、第五次深川市総合計画においては、農林業活動で発生するバイオマス資源など、本市に存在する豊富な再生可能エネルギー候補について、その効果や経済性などを総合的に勘案し、導入の可能性を検討することとしていますので、引き続き関係団体

等と連携し研究に努めます。

その他通告のあった質問

1. スポーツ合宿について(教育)
2. 生活保護適正化推進事業について(福祉)



高橋 修司 議員 (平成公明クラブ)

○高齢者の安心、安全について

(福祉)

問い 高齢社会の進展とともに、高齢者の日常の安心安全が脅かされている厳しい実態がうかがい知れる。このような傾向は今後の超高齢社会に向けてますます顕著になるものと思われる。養護者による虐待から高齢者を守る取り組みについて伺う。

答え 本市では、平成十九年三月に高齢者虐待対応マニュアルを作成し、高齢者支援課内にあ

る深川市地域包括支援センターを窓口として、虐待及びその疑いのある事案の相談・通報を受け、介入支援時には、警察署及び病院、保健所、担当ケアマネジャー、地区担当保健師、民生委員さんなど関係機関や近隣の住民の方等に協力を仰ぎ、チームで素早い介入・支援の対応をしています。高齢者虐待は、養護者の介護負担による身体的虐待や、経済的に自立できない子供さんによる経済的虐待も見受けられることから、個々の虐待に至る原因を探りながら、適切で敏速な虐待予防対応が重要となりますので、引き

続き、各関係機関と強力な連携を保ち、虐待の予防や発生時の迅速的確な対応に努めます。

○市内危険箇所の安全対策について
（教育・建設）

問い 車道で危険な箇所は、道路からの離脱事故や出会い頭の事故が多いところなどたくさんあるが、市としてもホームページ等で危険箇所の周知や現地に案内板を置くなどの対応が必要だと思う。市として車道における事故多発地域の現状と対応について伺う。

答え 市としては、毎年の町内会長会議を初め、さまざまな機会を通し、信号機等の設置など交通安全対策に係る要望をいただいていることから、関係機関と連携し必要に応じ現地の状況調査を行うなど、地域の実態の把握に努めています。事故多発箇所の改善などの道路交通環境整備等への対応については、札幌開発建設部深川道路事務所や札幌建設管理部深川出張所を初め、深川市交通安全対策会議において、連携して交通安全の確保、向上に努めているところであり、信号機を初め、標識設置などの要望項目につ

いても、道路交通環境の改善整備項目として協議を行うなど、深川警察署を通じ公安委員会に毎年文書で要望しています。

○庁舎の休日対応について
（一般）

問い 近年全国には、休日も窓口を開設しているところが結構あるが、本市において各支所も含めて休日どのような対応をしているのか。何か対応をしているのであれば市民の皆様にごのよう周知しているのか。また、その利用者数についても伺う。

答え 市の休日における窓口対応の状況としては、市役所本庁舎及び納内・多度志両支所は、土曜日、日曜日、国民の祝日は閉庁して、通常の窓口業務は行っていませんが、これら閉庁日と平日の業務終了後は、本庁舎の当直室と生きがい文化センターの二カ所です。一部の窓口サービスを実施しています。窓口の利用状況としては、平成二十五年度の休日の取り扱いは、平成二十五年度の休日の取り扱いは、本庁舎当直室での届出の受け付けは、出生届、婚姻届、離婚届、死亡届が合わせて百二十八件。証明等の交付は、住民票の写し、印鑑登録証明書が合わせて

十件。交付申請は住民票の写しが一、税金などの納付は十四件となっており、一年間の合計は百六十三件で、一日の取り扱いは平均すると一・三件程度となっております。生きがい文化センターについては、平成十年に年金現況証明の交付申請を二件受け付けて以降、利用はありません。

- 現在、ホームページにおいて、各課ごとにこの取り扱いを掲載し
- 周知していますが、今後、改善を図ってまいります。
- その他通告のあった質問
1. 道の駅について（商工）
 2. 市内のヘリコプター離着陸場について（一般）
 3. 生活保護の見直しについて（福祉）
 4. 庁舎の喫煙場所について（一般）



和田 秀隆 議員
（日本共産党深川市議団）

○緊急通報システムについて
（福祉）

問い 就寝時、携帯子機を身体から離すために、緊急ボタンを押せなかった事例がある。携帯子機を身体に装着できる腕時計タイプにするなどの改善が必要と考

腕時計型が製造されていきました。現在、腕時計型が主流となっており、リストバンド型は一般的に普及していません。市としては、現在使用しているペンダント型発信機は、身につけたり取り外しが容易で、また、就寝時に枕元に置いたり、ベッドにぶら下げたりと、利用者にとって使いやすいものと認識していますが、機器更新時期に、今よりさらに利用者にとって使いやすい機器が開発され普

答え 現在使用しているメーカーの機器オプションでは、以前は

が、現在、腕時計型が製造されていきました。現在、腕時計型が主流となっており、リストバンド型は一般的に普及していません。市としては、現在使用しているペンダント型発信機は、身につけたり取り外しが容易で、また、就寝時に枕元に置いたり、ベッドにぶら下げたりと、利用者にとって使いやすいものと認識していますが、機器更新時期に、今よりさらに利用者にとって使いやすい機器が開発され普

及していれば、採用を検討したいと考えています。

○生活保護行政について（福祉）

問い 四月からの保護基準の変更点と七月からの実施要領はどのように変わっていくのか。特に受給申請の手続と扶養照会に関しては、申請権侵害や受給抑制と直接絡んでくる懸念があるので、内容の詳細と対応を伺う。

答え 生活保護基準の本年四月からの変更点について、生活扶助基準は、平成二十五年八月から三年程度をかけて段階的に見直しされることになっており、二十五年八月に一回目の引き下げ改定が行われ、本年四月には二九％の引き上げ改定が行われました。本年七月の生活保護法の改正内容は、就労による自立の促進、不正受給対策、医療扶助の適正化等を行うための所要の措置が講じられるもので、就労自立給付金の創設、福祉事務所の調査権限の拡大、扶養義務者に関する規定の創設、指定医療機関制度の見直しなどがあります。この法改正で、法定受託事務の処理基準である生活保護の実施要領については変更されましたが、保護の受給

要件に変わりはなく、申請の権利を決めるものではありません。

○障がい者福祉について(福祉)

問い 特別障害者手当は、老老介護の状態にある世帯等にお勧めすべき支援だが、細かい申請条件が窓口に行くまでわからない状態にある。ホームページでの説明内容など、医療関係等との連携が必要な種類と認識するが、現在の実績及び周知の改善について考えを伺う。

答え 特別障害者手当の本市における支給実績については、本年五月末現在、受給者数は十五人となっており、類似市との比較において、特段大きな差異はないと考えています。制度の周知方法については、身体障害者手帳などの交付の際に個別に制度を説明しているほか、市のホームページ、あるいは毎年、広報ふかがわ四月号に制度の概要を掲載するなどしてありますが、今後は、これらの周知内容について、該当となる具体的事例を掲載するなどの工夫を図り、該当になる方が受給漏れとならないよう、さらに制度の周知に努めます。

また、手当の受給判定に必要な

となる医師診断書の作成に当たっては、今後、市から事前に主治医に連絡するなど、診断書の作成に支障がないように努めます。

その他通告のあった質問

1. 生活困窮者自立支援法につ

いて(福祉)
2. 子ども・子育て支援新制度について(福祉)
3. バリアフリー歩道について(建設)

4. 星空教室について(教育)



水上 真由美 議員
(新政クラブ)

○次期市長選について

(市勢振興)

問い 来年一月に任期満了を迎える市長選挙の日程が決まった。これまで、一貫して健全財政の確立と堅持に努め、さまざまな課題に取り組み、解消に努め、手腕が発揮されてきた。引き続き、市政を担ってほしいと望む声を聞くが、次期市長選に対する考えを率直に伺う。

答え 次期市長選挙に対する考え方ですが、さきの第一回定例会での質問に対し、「私としては、平成二十六年年度予算の効果的な執行のため、まずは、今の任期をしっかりと務め上げていくことが、

私に課された責務であり、そうした心構えで職務に専心したい」と申し上げました。それから今日まで三カ月が経過しましたが、現在においても残された半年余りの期間、市政運営に全力を傾注することが最重要の責務と考えており、そうした自分の職責をしっかりと果たしていく中で、今後、自分が市のために、さらに役に立つ余地があるのか、さらに市政に貢献することが可能かなどについて充分考え、しかるべき時期が到来したときには、私の考えを明らかにします。

○市立病院の経営健全化について(医療)

問い 平成二十一年度から経営健全化計画に基づき、収益の確保、経費の縮減等、経営の改善に取り組んできた。この計画は、平成二十七年年度まで、残り二年となった。これまで、計画上の数値を毎年クリアしてきたが、計画の達成度と課題について伺う。

答え 経営健全化計画の目標値は、資金不足比率が二十%を下回ることですが、平成二十五年年度末の決算見込みにより、この資金不足比率が十八・五%となることから、二十四年度末の二十五・九%から七・四ポイント改善し、経営健全化計画の二十五年年度末目標値より十一・一ポイント改善され、計画を二年前倒しで達成する見込みとなっており、本年度の第三回市議会定例会での二十五年年度決算認定議案に合わせ、当該計画の完了報告書を提出する予定です。今後においても収益を安定的に確保するため、患者数の確保と診療単価を維持し、診療報酬を継続的に確保していかなければなりません。平成二十六年年度の診療報酬改定による収益減が見込まれるため、収益確保対策と密接に係る診療体制確立が課題となっています。

○観光の国際化の取り組みについて(商工)

問い 昨年度より、「サイクルツーリズム」を推進し、推進連絡会に加盟し、外国からの自転車愛好家の受け入れの準備を進めてきたが、北海道は、農村風景、道路の整備、治安、食べ物と条件がそろい、人気であるようだが、サイクルツーリズムの今年度の取り組みを伺う。

答え 空知管内において、ツアー客の受け入れのために、サイクルツーリズムを推進し、推進連絡会が組織されましたが、本市もこの連絡会に加盟し、観光資源や田園風景を楽しんでいただくコース設定を行うなど、サイクルツーリズムの促進に努めています。同連絡会では、八月十六日、十七日の二日間、「北海道そらちグルメフオンド」というイベントを開催しますが、このイベントの中で行われる「ぐるっとそらち一六〇キロメートル」のコースに本市が入っており、ランチ・ステーションとなっており、ランチ・ステーションとなっているため、経済センターを会場に、地元で用意した昼食等を提供する予定です。本イベントは、既にインターネットを中心に参加者の募集をしており、外国人

を含めた自転車愛好家からの申し込みがあると同っています。現在、詳細なコースの設定など、鋭意、受け入れ準備を進めています。

- その他通告のあった質問
1. 再生可能エネルギーの取り組みについて（市勢振興）
 2. 東日本大震災に対する支援について（一般）



楠 理智子 議員
（民主クラブ）

○子ども・子育て支援制度について（福祉）

問い 子ども・子育て支援新制度は、事業者が認定こども園を選ぶか、幼稚園、保育所の運営は現状のまましていくか、新制度を選択するかが求められている。新制度は平成二十七年から開始が予定され、実施に向けた準備が進められているが、スケジュールについて伺う。

答え 新制度は、来年四月からスタートするため、子ども・子育て支援事業計画については、本年秋頃までには、就学前の教育保育、また、地域の子育て支援事業などについて、今後五年間に必要と見込む量や確保策がある程度確定させ、本年度末までに策定

を完了する予定です。また、新制度においては、事業者は給付の対象となることの認可確認を、保護者は保育の必要性の認定を受けることが必要となりますので、早ければ本年秋以降に、これらの事務を開始することになります。幼児教育や保育事業などの運営に関する基準や、市が認可する事業の基準などについては、条例での規定が必要となりますので、条例制定について、実施する事務間に合うよう市議会に提案する考えです。

○保育士の処遇改善について（福祉）

問い 保育士の賃金、労働条件が厳しい実態にあり、募集しても集まらないなどと聞く。子どもを

保育していく上でも、処遇改善は必要と考える。平成二十五年度補正予算で保育士の処遇改善のため深川市は助成しているが、その実績と効果について伺う。

答え 保育士処遇改善の平成二十五年度実績について、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金は、市内の法人立保育園、六園の補助金総額が七百六十三万八千円で、賃金改善の方法としては、基本給の改善が一園、賞与、一時金としての支給が五園となっています。この事業の実施により、民間保育所の人材確保対策の推進に、一定程度寄与できたものと考えています。

○食育推進について（福祉・農業）

問い 食育を進める取り組みは進められていると思うが、意識を深めるために、六食品群の書かれたなどの、バランスの良い食事についてのパンフレットの配布や、町内会や事業所での健康教室の開催も食育推進につながると思われるので、取り組みの検討について伺う。

答え 食育の推進については、食

生活を通じた健康づくりを目指して、管理栄養士や保健師が市内各地域や職場に出向き、調理実習や試食なども取り入れた健康教室を開催しています。また、食事のバランスについて、一目でわかるパンフレットやレシピを作成し、健康教室や健康相談、各種保健事業の場面で配布するなど、その周知に努めています。市としては、今後とも、あらゆる世代の方に栄養に関する正しい情報を提供し、市民がより健康的で、楽しい食生活を送ることができるよう、地域の保健推進員や各関係機関、団体なども連携し、町内会や事業所等での食育活動



の機会を、さらにふやしていくようにします。

- その他通告のあった質問
1. 地域包括ケアについて（福祉）



田中 昌幸 議員
（民主クラブ）

○新たな高校教育に関する指針について（教育）

問い 今年度、深川東高校は募集百二十人に対し四十八人、深川西高校でも百六十人に対し三十四人もの欠員があったことから、公立高等学校地域別検討協議会で「深川市内において、再編を含

めた定員調整の検討が必要」と指摘されているが、市教育委員会の考えを伺う。

答え 市教育委員会としては、地域の実情や学校・学科の特性などを踏まえ、より一層、深川西高校と深川東高校の特色ある教育

活動ができるよう、現在の二校体制が存続することが望ましいと考えますので、両校の魅力づくりのために今後も取り組み、市内外に情報発信することなどについても各学校と協議を重ねていく考えです。教育長会においても、小規模高校の存続に関し、新たな高校教育に関する指針の見直しを含め、北海道教育委員会に対して要請を行っています。

○市内交通網の整備について

(市勢振興)

問い 路線バスは、市立病院までは各地からつながっていて乗り継ぎもできる。初乗り百九十円だが、市役所前から市立病院、深川西高前へとつなぐと三百八十円になる。五十円程度の乗り継ぎ料金を設定し利便性を向上させるなど、当面のできることを先行する考えを伺う。

答え 本市の公共交通対策については、現在、協議会である深川地域公共交通会議の設置に向け関係機関との調整を進めています。この地域公共交通会議においては、現状分析や利用者ニーズなどの把握を行った上で、公共交通の利用促進策や効率的な運行

手段の確保、関係機関との連携の確保など主要な課題について検討を行い、持続可能な公共交通体系の再構築に取り組んでいくことを予定しており、乗り継ぎ料金の設定などについても議論していただくテーマの一つとして、検討したいと考えています。

なお、交通会議での検討の中で、仮に結論に達した方策が出てきた場合には、新年度に向け先行して取り組む考えです。

○市内パークゴルフ場について

(教育)

問い 市のコースは河川敷や林間にあり、近年の極端な天候の影響で整備に苦勞されているが、テイクグラウンド自体を移動したり、定期的にカップの位置を切り直すことやサブグリーンを設置するなど管理方針、体制、状況と、コースの現況と対策について伺う。

答え パークゴルフ場の管理業務を委託するに当たっては、効率的な運営や適切な管理体制の確保などの管理方針を設けており、その内容は、適切な管理運営業務を実施するために必要な業務執行体制を確保するとともに、

適正な職員配置をすることとされています。仕様書では、芝刈り・かん水・施肥などを定め、それぞれの業務ごとに、芝刈り込みの深さや実施回数などを指示しており、天候等により臨機応変な対応についてもお願いしています。仕様書には、委託先に求める具体的な管理のレベルは明記していませんが、日常的にパークゴルフに親しんでいただくことと同時に、市内や管内の愛好者などが集う大会が開催できるレベルでの環境整備に努めています。現況は、突

然の猛暑やまとまった雨がなかったことなどの影響もあり、特にリバーサイドパークゴルフ場においては、芝の生育に支障が出始めたことから散水を開始しました。今後も適切な管理手法の確立を目指して委託先とも連携し検討を進めていきます。

その他通告のあった質問

1. 省エネルギー対策について

(環境・一般)

2. パブリックコメント手続条例について (一般)

その内容について



松沢 一昭 議員
(日本共産党深川市議団)

○就学援助について (教育)

問い 就学援助の実施状況で生活保護制度の見直しによって、影響が出るのではないかと心配されているのか。また、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費についても対応されることになったと言うが、その内容について伺う。

答え 市内小中学校の受給実態については、進要保護者に対する援助として平成二十五年度は、二百七十一人の児童生徒に対し、約二千五百四万円を援助しています。本年度は、二百三十五人の児童生徒に対し、約二千三百六十九万円の援助を行う予定で、前年度と比較し、児童生徒数で三十六人の減、援助額では約百三十五万円の減となっています。

度の実績では、クラブ活動費は小学生七十七人に対して約百一十万円、生徒会費は中学生九十五人に対して約四万円、PTA会費は小中学生二百二十世帯に対して約三十九万円、合計額で約百四十四万円を援助しています。本年度については、現在、合計額で約百四十八万円と推計しています。

○納内診療所について (医療)

問い 納内診療所の医師が常勤しなくなっているが、その確保の見通しはどうか。また、診療所と医師住宅も相当傷んでおり、建てかえが必要と考えますが、見解を伺う。

答え 納内診療所の医師確保については、本年二月に北海道地域医療振興財団から、関心を示している医師がいるとの連絡があり、財団を通して資料を送るなどアプローチをしましたが、四月に、当該医師に直接面談する機会を得て、それ以降、精力的に

交渉を重ねています。市としては、当該医師の希望や条件等に誠意を持って可能な限り応えたいと考えており、正式に診療所に来ていただけるよう最大限努めています。

また、納内診療所の建物は、施設の内外ともに老朽化は否めない状況にあり、医師住宅も現状のまま居住していただくことは困難な状態にあると考えます。今後、当該医師から着任の決断をいただくことができれば、納内地域の皆様や関係機関・団体とも連携を図り、できるだけ早期に改築できるような場所や資金など具体的に検討する考えです。

〇市立病院整形外科医の確保について

問い 市民の多くの方から言われることだが、整形外科医の確保は、山下乡政にとって喫緊の課題だと思う。トップセールスの役割も含め、その考えを伺いたい。

答え 整形外科医の確保は、当院の最重要課題として位置づけし、旭川医科大学の担当教授を市長や院長が訪問し、常勤医師の不在に伴う北空知二次医療圏の窮状等を訴え、医師派遣要

請を強力に行っています。さらに、道外の二つの大学や公的な医師紹介機関及び民間の医師あつせん会社を通じての募集・紹介など、あらゆる手段を使って整形外科医の確保に努めています。

市長によるトップセールスについては、東海大学総長や全国自治体病院協議会医師求人求職センター及び北海道東京事務所などを訪問する中、本市への特別な協力をいただけるようお願いを重ねています。今後においては、



〇向陽館について

問い 高橋要氏が美術館として利用している以外のスペースは、施設が旧木造校舎を活用しているが、かつての教室や校長室など、その風情を残していないのは残念である。書道の関係で利用されるスペースなど、高橋要氏が使っているスペース以外の活用状況について問う。

答え 向陽館の施設内容は、展

これまでの活動を継続するとともに、新たな取り組みについても十分検討し、市長による医師の招聘活動の充実に努めます。

その他通告のあつた質問

1. 農業・農村所得倍増計画について（農業）
2. 農業振興計画の策定について（農業）
3. 公営住宅の管理について（建設）

東出 治通 議員 （公政クラブ）



が該当します。この研修室二室は、それぞれ旧教室の広さがあり、研修室一はカーペット敷きで、研修室二は机、椅子を配置し、地域の方々が月に数度、書道などの芸術文化活動を初め、地域活動・社会教育活動に利用いただいております。今後も、地域住民が気軽に利用できるよう努めます。

なお、この研修室二室については、規定により、高橋要氏の使用部分と区分されています。

〇深川市所蔵の美術品（絵画・書）などについて（一般・教育）

問い 市内の学校、集会施設など、公的な施設で掲示または保管されている作品について、作品の数、作家、保管の状況など、どの程度把握されているか。今後の市の調査対応についての考え方を問う。

答え 市役所、支所、コミュニティ施設、学校などにおいて所蔵する絵画、書、彫刻などの作品については、全体を把握している状況にはありませんが、それらは作品自体としての価値もさることながら、多くの人を引きつけ、交流人口の増にもつながる貴重な本市の財産と言えます。教育委

員会としては、全市的な調査を行うことが必要と認識していることから、少し時間をかけて調査し、得られた調査結果については適切な管理を行うとともに積極的な活用を検討し、さらにはホームページ等で紹介し情報発信に努めます。

〇高齢者バス利用助成事業について

問い 三年目を迎えた本事業だが、高齢者の皆さんからの評価は高いと受けとめている。実証事業としてスタートした当初の予算規模で見ると、登録料金は無料化すべきと思うが、利用者負担の考え方と登録料無料化の考えについて問う。

答え 高齢者バス利用助成事業は、実証事業の開始以降、利用される皆さんの意見も踏まえながら、これまで必要な見直しを行ってきています。現制度においては、初回登録時に利用者証や乗車券を作成する経費の実費相当額等を登録料として負担いただいておりますが、今後、設置する深川市地域公共交通会議において、市全体の公共交通の利用促進策等を幅広く検討していくこととして

おり、本事業についても、公共交通対策の一つとして議論いただくことを想定していますので、登録料の負担のあり方も含め、現在負担いただいている運賃体系や利用者の拡大、利便性向上など、

さまざまな視点から検討します。

その他通告のあった質問

1. ほっと館ふぁーむについて (市勢振興)
2. 農地移動について (農業)



菅原 明義 議員 (無党派)

○学校教育について (教育)

問い 市内の保護者や児童生徒を対象として実施した読書活動に関する調査では、非常に高い関心を示していることがわかったが、学校教育での読書活動の充実と、来年度から実施する「深川市子どもの読書活動推進計画」とのかかわりについて伺う。

答え 学校現場においては、各学校の司書教諭または担当者により学校図書館の図書の収集、整理、管理及び図書委員への指導のほか、学級担任と連携しながら児童生徒に本への興味を抱かせたり、読書の魅力や本を使って調べ・学ぶことの大切さを教えたりするなどの活動を行っています。

また、市立図書館の各学校に対する読書支援の取り組みとしては、マナビイ文庫の貸し出しのほか、各学校の図書館担当者とし

市立図書館担当者として学校図書館担当者会議などを開催し、情報交換や研修・研さんを行う中で、学校図書館の効果的な運営が図られるよう取り組みを行っています。学校現場における読書活動と「子どもの読書活動推進計画」とのかかわりについては、現段階では明らかではありませんが、策定された計画に基づき、より一層、各学校での読書活動の充実が図られるよう必要な対応に努めます。

○障がい者支援について(福祉)

問い 近年、学校教育において発達障がい児童生徒に対するきめ細かな指導が充実されてきているが、本市において、幼少時から成人・高齢者に至るそれぞれのライフステージに応じた、きめ細かな支援体制の充実が一層必要と考える。市の取り組みと考えるについて伺う。

議を行い、放課後等デイサービスについては、本年六月から深川市手をつなぐ育成会において、北空知管内の特別支援学級等の児童生徒を対象に事業を開始しました。このほか、今年度は、こども部会の交流報告会を開催するほか、講演会や研修会を開催し、障がい福祉関係者の交流と学習の場を設ける予定にしています。

○スポーツ振興及びスポーツ合宿について (教育)

問い 合宿歓迎にかかわる看板は、旅館、ホテル以外では、プラザ深川に設置されているが、今年は、さらに競技場内にも設置された。今後は、地域振興の意味からも、道の駅での設置と、合宿したチームの活動写真を暦として作成してはと考えるが、取り組みを伺う。

答え 幼少時から成人高齢に至るライフステージに応じた、継続的支援体制の確立については、北空知一市四町で共同設置している北空知地域自立支援協議会において、就労支援部会、居住支援及び権利擁護等部会、こども部会の三部会を設置し、各分野における課題解決に向けて関係者が協議を行い、北空知地域の障がい者の支援体制の整備に取り組んでいます。特に、こども部会では、現在、部会内に二つの分科会を設けており、第一分科会では、ライフステージ各期での支援が円滑に移行されるよう、保健、福祉、医療、教育等の相談支援関係者の連携の仕組みづくりを調査、研究しています。第二分科会では、放課後等デイサービスと保育所等訪問支援事業の実施に向けて協

答え 本年度のスポーツ合宿では、歓迎看板を、これまで設置している総合体育館とプラザ深川前に加え、新たに陸上競技場に設置しました。知名度アップのための方策については、引き続き、さまざまな機会を通じて、積極的にスポーツ合宿のまちを周知すべきと認識しています。限られた予算の中で、より効果の上がるPR方

法について、今後とも総合的に判断します。

1. 地域子育て支援について (福祉)
2. 企業誘致及び地域特産品について (市勢振興)

お知らせ

- 第3回定例会は、9月9日(火)から26日(金)まで開催する予定です。
- 深川市議会では、第2回定例会から第3回定例会までの間、夏季の軽装(クールビズ)を実施しています。
- 市のホームページには、議会事務局のサイトがあり、会議録の検索や議会だよりなどを掲載しています。市民の皆さんにより身近な市議会となるよう、今後も、さまざまな情報を掲載していきますので、ごらんください。

○議会事務局ホームページ <http://www.city.fukagawa.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>